

この子らと

令和7年1月号

命輝く子ども

わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男



明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひいたします。(職員一同)

「新しき年のはじめに思うこと ひとつ心に つとめて行かぬ」(斎藤茂吉)

「見ゆる限り 山の連なり 雪白し 初日の光 さしそめにけり」(島木赤彦)

大晦日、除夜の鐘そしてカウントダウン、午前零時、錦江湾から新年をお祝いする汽笛吹鳴(すいめい)が響きます。



神社・お寺では、初詣を待つ、たくさんの人々が零時とともに一年の感謝をささげたり、新年の無事と平

穏に手を合わせます。

「今年も、子どもたち、保護者のみなさま、職員そして本園にとって良い年となりますことを心から願っています。志あれば必ず成るです。」



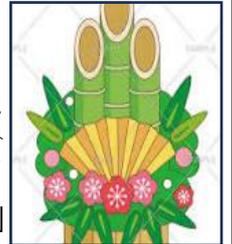
お正月について一考しませんか

お正月は、初日の出とともに訪れる「年神様」をお迎えして、おもてなしをする伝統行事です。

年神様は、お正月に人間界に降りてこられて、各家々を訪れて、幸福をもたらして下さいます。年神様のご利益とは「五穀豊穡・長寿・無病息災・家内安全・商売繁盛」などです。

そのために、年神様をお迎えするための準備をします。

【門松】—「年神様」においでいただく目印です。なお、竹を斜めに切るのは、切口を笑顔に見立てて、笑顔で迎えようとしているからです。」



【しめ縄】—悪霊等が侵入するのを防御し、「年神様」を迎える神聖な場所とするものです。」

【鏡餅】—「お正月が明けるまで年神様がおられる場所です。」鹿児島県は1月11日が鑑開きです。

松の内とは、年神様が滞在される期間で関東は、1月7日まで、鹿児島県は、1月7日まで、関西は、1月15日までです。門松・しめ縄は松の内が過ぎたら外します。

右写真は「鬼火たき」の行事で1月7日に行います。しめ縄等を燃やして無病息災を願う鹿児島の伝統行事です。他県では「どんど焼き」「左義長」とも呼ばれています。



中学生のお正月俳句

「ひしひし 迫る正月 鏡餅」
「初詣 少し多めのお賽銭」
「初日の出 いつもと違う 海の色」
「玄関に 靴が溢るる お正月」
「初日の出 心機一転 誓う朝」
「境内に みくじの花咲く 初詣」



新年の挨拶

悩み深き世の中ではありますが、「一年の計は、元旦にあり」、夢と希望を抱いて、子どもたち一人一人のために、職員とともに、一步一步、歩を前に前に進めて行こうと思います。

今年も皆様方、子どもたちとの一期一会のご縁に感謝して、誠心誠意、取り組んでまいります。

皆様方にとりましても、幸多い一年となりますことを心から祈念申し上げます。 園長 川口公男